

2003 年度 工学部共通科目 シラバス

syll mksyltex Ver 1.97 (2004-3-16) by higaki@tu.chiba-u.ac.jp

2003 年度 工学部共通科目 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TY016001	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	宮崎 清	共通 2
TY016002	造形演習	2.0	1 年前期火曜 6 限	宮崎 清	共通 3
TY016003	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	玉垣 庸一	共通 4
TY016004	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	福川 裕一	共通 5
TY016005	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	釜池 光夫	共通 6
TY016006	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	瀧 徹	共通 7
TY017001	図学演習	2.0	1 年前期金曜 2 限	釜池 光夫 ^他	共通 8
TY017003	図学演習	2.0	1 年前期水曜 3 限	(田中 修一) ^他	共通 9
TZ021001	応用数学 I	2.0	3 年前期集中	(今井 仁司)	共通 10
TZ041001	日本工業概論	2.0	1,2,3,4 年前期木曜 5 限	東田 喜輔	共通 11
TZ042001	工業経営概論	2.0	1,2,3,4 年後期木曜 5 限	東田 喜輔	共通 12
TZ051001	工学倫理	2.0	2,3,4 年後期月曜 5 限	堀田 明博	共通 13

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C1

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 「造形演習」の個々の課題には、限られた時間のなかで精一杯にチャレンジし、満足するまで成し遂げることが求められている。頭脳と手とを連動させ、「手を動かし、汗をかき、想いをめぐらし、創る」まさに「手汗想創」を体感する演習である。

[講義目的] 「工学」とは「ものづくり」であり、「ものづくり」とは「造形」である。「造形演習」は、いくつかの「造形」に関する課題を通して、「工学＝ものづくり」に対する関心を高め、その基礎的・潜在的資質が覚醒することを目的としている。具体的な目的は、以下のようである。(1)「学び取る」姿勢を培う。(2)多様な解の存在を認識する。(3)プレゼンテーション能力を培う。

[講義内容] (1)全体ガイダンスおよびクラス分け、第1課題:「鉛筆による精密描写」の説明、(2)第1課題の演習、(3)第1課題の演習、(4)第1課題の講評、(5)第2課題:「展開図に基づいた立体物の描写」、(6)第2課題の演習、(7)第2課題の講評、第3課題:「大学生活のなかで使う鞆の制作」の説明、(8)第3課題の演習、(9)第3課題の演習、(10)第3課題の講評、第4課題:「飛行体の造形」の説明、(11)第4課題の演習、(12)第4課題の演習、(13)第4課題の講評、(14)総合講評、(15)展示会

[キーワード] 観察・思索、デザイン、手汗想創、プレゼンテーション

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C2

開講時限等: 1 年前期火曜 6 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 「造形演習」の4つの課題のひとつひとつには、限られた時間のなかで精一杯にチャレンジし、満足するまで成し遂げることが求められている。頭脳と手とを連動させ、「手を動かし、汗をかき、想いをめぐらし、創る」まさに「手汗想創」を体感する演習である。

[講義目的] 「工学」とは「ものづくり」であり、「ものづくり」とは「造形」である。「造形演習」は、いくつかの「造形」に関する課題を通して、「工学=ものづくり」に対する関心を鼓舞し、その基礎的資質を覚醒することを目指している。具体的な目的は、以下のようである。(1)「学び取る」姿勢を培う。(2)「鉄は熱いうちに打て」を实践する。(3)多様な解の存在を認識する。(4)プレゼンテーション能力を涵養する。

[講義内容] (1)全体ガイダンス、第1課題:「鉛筆による精密描写」の説明、(2)第1課題の演習、(3)第1課題の演習、(4)第1課題の講評、(5)第2課題:「展開図に基づいた立体物の描写」、(6)第2課題の演習、(7)第2課題の講評、第3課題:「線描画面の作成」の説明、(8)第3課題の演習、(9)第3課題の演習、(10)第3課題の講評、第4課題:「ランプシェードの作成」の説明、(11)第4課題の演習、(12)第4課題の演習、(13)第4課題の講評、(14)総合講評、(15)展示会

[キーワード] デザイン、手汗想創、こだわり、プレゼンテーション

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 玉垣 庸一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C3

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C4

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 釜池 光夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C5

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 瀧 徹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C6

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 創造工学センター

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 創造工学センターは土足厳禁、上履きを用意すること

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : 釜池 光夫, 長尾 徹, 田内 隆利
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C7
 開講時限等: 1 年前期金曜 2 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 空間を把握し、操作、表現する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のため、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 作業用具が必要となる。

[教科書・参考書] 研究室で編集したテキストを用いる。

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : (田中 修一), 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C8

開講時限等: 1 年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 製図の基礎となる図法を学び、実際に自分で作図して製図図法の理解を深める。

[講義目的] 製図用具の使用方法から始まり、デザインの思考展開および伝達手段として必要な 3 次元空間表示のための基礎的図法の理論の学習と演習を行う。

[講義内容] 線と文字の演習、平面図学、立体図学、正投影図法、等測図法、陰影図法、一消点透視図法、二消点透視図法、簡単な設計課題等

[キーワード] 図法

[履修条件] 製図用具が必要となる

[教科書・参考書] 建築とデザインのための図形科学、培風館。建築立体図法、技術書院

授業科目名 : 応用数学 I
 科目英訳名 : Advanced Engineering Mathematics I
 担当教官 : (今井 仁司)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C9
 開講時限等: 3 年前期集中
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TJ2:都市環境 メディア	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門選択 (F30)					

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T2:建築 A	専門基礎選択 (E30)			
T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 数値計算法の方法のうち、差分法、有限要素法、境界要素法について講義する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 開講教室、開講日時等の詳細については、教務係窓口付近の掲示板を参照して下さい。開講日：7月30日(水)～8月2日(土)

授業科目名 : 日本工業概論
 科目英訳名 : Introduction to Japanese Industries
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CA
 開講時限等: 1,2,3,4 年前期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザイン A デザイン	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)				T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	その他 (Z99)	その他 (Z99)					TD:画像 B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				その他 (Z99)							
TF4:デザイン A 建築	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TG:電子機械 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TK2:先進科学プログラムフロンティア	その他 (Z99)										

[授業の方法] 講義

[講義概要] 日本の企業の形態と特徴及び現代日本の工業技術発展の背景について概説すると共に主要工業（化学繊維工業、鉄鋼業、造船工業、自動車工業、家庭電子工業、産業用電子工業など）の発展の経緯とその要因について解説する。

[講義目的] 日本の工業及び工業技術の現状を欧米と比較すると共に第二次世界大戦後、日本企業が目覚ましい発展をすることができた要因を分析し、その強さの秘密や日本企業の特異性等を明らかにすることにより、外国人留学生が日本の企業や工業技術について理解を深め、将来、母国の産業や工業技術の発展に尽くしたり日本の企業で働く場合に役立つことを想定して講義する。

[講義内容] 日本の企業の形態と日本的経営の特徴と現状について解説すると共に主要工業（化学繊維工業、鉄鋼業、造船工業、自動車工業、家庭電子工業、産業用電子工業など）について、各工業の発展の経緯とその要因、背景等について解説する。また、生産コスト、労働生産性、製造技術のレベル及び製品の品質や多様性等について、日本企業の国際競争力の比較を行う。更に、日本企業の技術革新、生産技術と生産現場の合理化、従業員の勤労意識、労務管理等について解説し、日本企業の強さの秘密を明らかにする。なお、講義では、理解を深めるため、ビデオ及び OHP を多用する。

[キーワード]

[履修条件] 特になし。

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料（プリント）を配布する。参考書は、講義中に随時指示する。

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、留学生の科目区分は専門選択科目（F30）となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位（Z99）となり卒業要件単位とならない。

授業科目名 : 工業経営概論
 科目英訳名 : Introduction to Industrial Administration
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CB
 開講時限等: 1,2,3,4 年後期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザイン A デザイン	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)				T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	その他 (Z99)	その他 (Z99)					TD:画像 B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				その他 (Z99)							
TF4:デザイン A 建築	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TG:電子機械 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TK2:先進科学プログラムフロンティア	その他 (Z99)										

[授業の方法] 講義

[講義概要] 日本の工業経営の特徴と工場の経営や管理に必要なと思われる基礎的な知識について解説すると共に経営戦略の策定プロセスや生産管理等の各種管理手法について概説する。

[講義目的] 主に、外国人留学生を対象にして、工場の経営や管理を行う場合に必要となる工業経営に関する基本的な知識や考え方及び日本式経営の特徴等を理解し、工業経営に対して何が重要であるかを認識してもらうことを目的として講義を行う。また、工場の経営者、管理者あるいは彼らのスタッフとして、直面すると思われる採算的意志決定等を合理的に行う基礎的手法や考え方等を身に付けるための演習を行う。

[講義内容] ・工業経営に必要な基礎知識として、経営組織、企業の特質と企業理念・目的・方針等、資本と資産、利益、製造原価及び財務諸表の見方、経営分析等・経営管理の基本理念及び経営戦略・計画・統制 ・日本の経営の特徴・生産管理の体系、工程管理、生産計画 ・品質管理及び統計的品質管理手法・品質保証体制及び製品検査 ・原価管理及び生産の合理化と生産性 ・QC及びTQC活動 ・資材管理、在庫管理等の説明及び演習を行う。

[キーワード]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料(プリント)を配布する。参考書は、講義中に適宜紹介する。

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、留学生の科目区分は専門選択科目(F30)となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位(Z99)となり卒業要件単位とならない。

授業科目名 : 工学倫理
 科目英訳名 : Engineering Ethics
 担当教官 : 堀田 明博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CC
 開講時限等: 2,3,4 年後期月曜 5 限
 講義室 : 総 B

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF1:デザイン A デザイン		専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ		専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン		専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A		専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学		専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学		専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)
TH4:情報画像 A 画像システム工学		専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	選択必修 A 群 (F29)	選択必修 A 群 (F29)
TI:物質 A		その他 (Z99)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI1:物質 A 化学 物質化学		その他 (Z99)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI2:物質 A 機能 物質機能		その他 (Z99)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI3:物質 A 物性 物質物性		その他 (Z99)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ:都市環境 B	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度		
	1997 年	1996 年	1995 年
T1:工業意匠 A	専門基礎選択必修 (E20)		
T3:機械 A		専門選択 (F30)	
T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	その他 (Z99)		
T8:画像 A	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)
TB:情報 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TD:画像 B	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 工学は、科学・技術のさまざまな成果を活かし、我々の生活及び生活環境を豊かにする実践の学である。しかし、その使用の方向、利用の仕方が適正でない時、社会的な大きな混乱や損失が生じ、ひいては個人の生活を脅かす事態となる。本講義では、社会との関係における工学者の使命、規範、役割、権利と義務等について広範な視点から論述する。

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] < 日程とテーマ・講師 > 1. 10月6日(月) ガイダンス(堀田 明博 工学部) 2. 10月20日(月) 職能倫理としての工学倫理(土屋 俊 千葉大学文学部) 3. 10月27日(月) 工学倫理の特徴(忽那 敬三 千葉大学文学部) 4. 11月10日(月) 倫理とは(高橋 久一郎 千葉大学文学部) 5. 11月17日(月) 工学者の高齢者・障害者への対応(市川 薫 工学部) 6. 12月1日(月) ネットワーク倫理(島倉 信 メディア基盤センター) 7. 12月8日(月) エネルギー産業と環境倫理(町田 基 工学部) 8. 12月15日(月) 組織における工学者の倫理(深澤 教司 工学部) 9. 12月22日(月) 生命(医学)倫理の特性と歴史(田邊 政裕 千葉大学医学部附属病院) 10. 1月5日(月) 技術者の知的所有権等財産的権利(1)(三中英治 共同研究推進センター) 11. 1月19日(月) 技術者の知的所有権等財産的権利(2)(三中英治 共同研究推進センター) 12. 1月26日(月) 製造物責任(PL)法(1)(小賀野 晶一 千葉大学法経学部) 13. 1月29日(木) 製造物責任(PL)法(2)(小賀野 晶一 千葉大学法経学部) 14. 2月2日(月) 技術者の倫理と国際化(野口 博 工学部) 15. 2月4日(水) 簡単なレポート及びアンケート(渡部 武弘 工学部) (注)講師のご都合により順番、内容に関して変更する場合があります。

[キーワード]

[履修条件] 対象学生 2~4 年次、受入人数 250 名、各学科の科目区分はオンラインシラバスを参照のこととし、表示がない場合は各学科担任に確認して下さい。

[備考] 開講場所は総合校舎 B 号館、履修登録期間:平成 15 年 10 月 1 日~10 月 14 日(各自 Web により工学部システムで登録する)